# メータオ・クリニック支援の会（ＪＡＭ）
# 会報メール　第 117 号
# 〔2019 年 12 月発行号〕

ＮＰＯ法人メータオ・クリニック支援の会（JAM）支援者の皆様

いつもご支援していただき、誠にありがとうございます。
JAM 会報メール第 117 号をお送りします。

JAM は 2008 年 3 月に発足された NGO です。ビルマ／ミャンマーからタイへ貧困や戦火を逃れてきた人々の病院、メータオ・クリニックの活動を支援する目的で設立されました。

支援者の皆様へ JAM の最新の活動を２カ月に一度、会報メールにて発信いたします。
今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

＜目次＞　　〔ページ〕

会員更新のお願い

国内から

国際保健医療協力の中で

講演会のお知らせ

国境の医療者　全国の書店で絶賛発売中！

編集後記

次号の予定

## 賛助会員の皆様へ　会員更新のお願い

平素よりメータオ・クリニック支援の会（JAM）の活動に深いご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。この度、賛助会員の皆様へ会員の更新をお願いしたく、ご連絡いたします。

当会は賛助会員の更新時期を年末に揃えさせていただいております。今回、**平成３０年７月～令和元年６月まで**にご入会および更新してくださいました皆様へご案内させていただきます。

これまで JAM の活動を応援してくださり、誠にありがとうございました。引き続きご支援を賜りたく、ご賛同いただける方は下記の要領にて会員更新の手続きを宜しくお願いいたします。

更新の対象となる皆様には、年内に JAM オリジナルカレンダーと共にご案内の文書を郵送いたします。ご不明な点は、事務局（support@japanmaetao.org）までお問い合わせください。

**更新の対象となる方：平成３０年７月～令和元年６月までに入会および更新いただいた皆様**

会員期間は令和元年１２月末をもちまして終了となります。

更新いただける場合は、お手数ですが令和２年１月末までに手続きをお願いいたします。

更新後の会員期間は**令和２年１２月末まで**となります。

すでに会員期間が過ぎてしまった皆様におかれましても、新たに賛助会員としてご支援いただけましたら大変有り難く存じます。手続きの方法は同じです。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、更新を希望されない方につきましては、手続きはご不要です。またご支援いただける機会をお待ちしております。

### 賛助会員 更新手続き（年会費入金）の方法について

■下記の年会費をお振込みください。

ホームページ（www.japanmaetao.org）から**クレジットカード決済も可能です。**

「あなたとできること」→「賛助会員になる」の下「クレジットカードによるお申し込みはこちら」へお進みください。

＜年　会　費＞　一般会員：　３，６５０円／年

学生会員：　１，８２５円／年

法人会員：３６，５００円／年

＜振込先口座＞

ゆうちょ銀行（銀行コード 9900）

支　店　名：〇一八（ゼロイチハチ）

口座名義：NPO 法人 メータオ・クリニック支援の会

（カタカナ）　トクヒ）メータオ　クリニックシエンノカイ

口座番号：10140－8960841

＊他行からのお振込みの場合　普通 0896084

（写真：渋谷敦志）

※ 当会が入金の確認をもって手続き完了となります。メールにてお知らせいたします。

■注意事項

・住所、氏名、メールアドレスに変更がある場合、振込名義がご本人でない場合は、事務局（support@japanmaetao.org）までご連絡ください。

※ 期限を過ぎてからご入会される場合は、ホームページより新規の方法でお手続きください。

## 国内から

【齊藤　つばさ】

みなさんお久しぶりです。7 代目の派遣員の斉藤です。

私は 2018 年 9 月にタイから帰国後、都内の 120 床程の病院に手術室専任として就職しました。看護学生の時は大学病院で実習が行われ、そのまま附属の 1000 床以上の大学病院へ就職したため、これくらいの規模の病院で働くのは初めてです。

みなさんは手術室と言われるとどんなイメージがあるでしょうか。今回は、手術室での患者との関わりで感じたことをお伝えしたいと思います。

手術室は、患者と話す機会が病棟の看護師と比較してとても少なく、看護師によっては、「手術室に看護なんてあるの？」と言われることもあります。

その中でも、術前訪問は患者と話すことができる大切な機会です。手術に対する不安を取り除くために、手術の前日や外来などで手術予定の患者と会います。手術室に来てから麻酔がかかるまでの流れや手術後の状態などを説明したり、手術に対する不安なことや気をつけてほしいことなどをご本人から聞いたりしています。(麻酔がかかってしまうと意思疎通が取れないからです。)

それ以外にも、事前に顔を合わせて信頼関係を築き、当日に知っている人がいることで不安が和らぐという目的もあります。

術中に目が覚めてしまうのではないか。術後はおしっこの管が入るんですか？などいろいろな不安を伺います。それに対して説明や対応していくことで、「不安は不安だけど、未知の不安ではなく状況を理解して手術に臨める。がんばります」と不安が軽減される方も多くいらっしゃいます。

しかし大学病院では 1 日に 35～40 件の手術があり、短期滞在が増えている今、自分の担当する患者へ術前訪問することはなかなか難しく、手術の間や業務後に残業して、検査などと時間が被っていない病室に滞在していそうな患者のところへ訪問するということが多かったです。

いろいろ説明やお話をしていく中で「明日よろしくお願いします。」と言われた後に、「明日の担当の者へ伝えますね」と言いにくいですし、オペ担当の看護師へ申し送る時に、コミュニケーションエラーできちんと伝わっていなかったということもあります。

手術室の入り口で「昨日会った看護師さんと違うのかー。残念だなー」「君、昨日の人より若いけど大丈夫なの？実際やるのはちゃんとした人だよね？」と言われることもありました。こう言われてしまうと、時間を作ってわざわざ患者に会いに行く必要あるのかな。必要な情報は病棟の看護師が申し送ってくればいいんじゃないかな。信頼関係ってなんだろう。と思うこともありました。とにかく術前訪問は自分のイメージしているものと異なり、苦手な業務でした。

現在の病院では、自分が担当する患者に会いに行くことが出来るので、あなたの担当ですと言えることや事前に聞いた不安に対応することができ、自分のイメージする術前訪問に近づいています。

骨折の手術では、スクリューなどで固定した後、半年から一年後にそのスクリューを抜く手術があります。同じ患者を担当する時に、「あら、こないだの看護師さん、今度もよろしくね！」と覚えていてくれることもあり、嬉しい経験をしました。

大学病院にいた時は、患者が医療者が忙しそうだから、、と遠慮している雰囲気をよく受けとりましたが、現在の病院は長期間働いている看護師も多く、「～さん元気になったねー！」と患者一人ひとりを認識しており、医療者と患者間の声かけや雰囲気と違うなと感じる場面もあります。

メータオでは、看護が導入されたばかりで、心理的な部分への声かけなどについてはまだ取り組めていない現状ですが、これから時間をかけて患者さんへの声かけや関わり方なども含めて看護を考えていけるようになるといいなと感じました。

## 国際保健医療協力のなかで（43）

【小林 潤】

中村哲先生が他界された。テレビでそのＮＥＷＳを知ったとき、おもわず叫んでしまった。首里城全焼の喪失感の何倍もの波に襲われて、とてつもないやるせない気になってしまった。直接の面識はなかったが、先生から教えられたことは大きかった。

一つは非常に有名な話である。「医療を超えて水の確保」に活動の中心をおいていったこと。多くの感染症で死んでいく住民の背景に栄養失調による免疫力の低下があったこと。これらの改善に取り組むために、不毛の砂漠地帯に灌漑用水を作り住民の栄養改善を実現させてしまったこと。さらにそれは、住民の希望・幸福にもつながることになったこと。これは非常なほどの現場での洞察力と、さらに実行してしまうバイタリティである。現場主義は多くの場所で語られる。そして誰もが納得してしまう話だと思うが、中村先生は決して話術に富んだ方ではなかったことを付け加えたい。事実を目で見たことにもとづく話と行動力は人を動かすのだと思う。

もう一つは勇気ある撤退である。実は 2008 年にペシャワール会の若手日本人スタッフが現地で殺害されている。その時は派遣員の管理体制についての責任問題を問う報道もあったと記憶している。そんな中、中村先生はいち早く現地に入り、全ての責任はとると発言されていた。そして、そのあと基本的に日本人ボランティアの派遣を中止し、先生自身と現地スタッフの活動にシフトさせたのである。このことは、実際私が、ＪＡＭを当時勢いのある若い皆と立ち上げたときでもあり、代表としての覚悟を固めさせた事件になってもいる。いざとなったら代表はいかなる批判も受け入れて責任をとることが最大の責務とも自覚させられた。そして必要であれば撤退も辞さない覚悟である。

あらゆる海外支援において、リスクは認識しなければならないことはわかっていたつもりであったが、中村先生が他界されてしまったことは残念でならない。しかしおおいに救われたのは、企画運営しているＪＩＣＡの課題別研修で来沖縄中のアフガニスタンからの研修員が我々日本人スタッフに対して、彼らの気持ちを示してくれたことだった。また彼らは私よりもさらに大きな失望を抱き、謝罪までしてくる人もいた。さらに中村先生に多大なる敬意を払い、彼らの意思で

働きかけ、研修中にアフガン人と日本人だけでなく、多くの国から来る研修生とともに黙とうを捧げることができたことであった。死に意味があるとはいいたくないが、少なくとも無駄死にではないといいたくなると思わせてくれた。

黙とうするアフガニスタンからの研修員

## 講演会のお知らせ

2020 年 1 月、大阪で田畑彩生（当会事務局長）が、タイ・ミャンマー国境の医療・保健事情についてお話します。

<日時>　2020 年 1 月 25 日(土)　18 時 30 分開始（20 時 30 分終了予定）
<会場>　大阪市立総合生涯学習センター第 4 研修室

（JR 大阪駅、各線梅田駅より徒歩圏内　大阪駅前第 2 ビル 5 階内）
<主催>　関西国際保健勉強会ぼちぼちの会
<参加費>　2000 円　※事前申し込み不要。直接会場にお越しください。
<懇親会>　同ビルインド料理予定

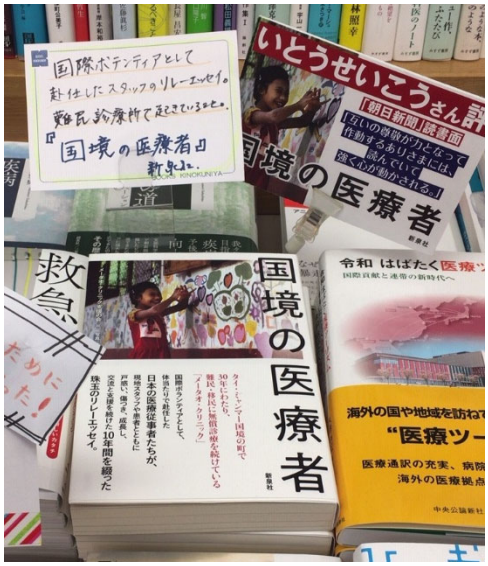
【講演内容】
タイ・ミャンマー国境で 30 年間無料診療を継続してきたメータオ・クリニックと、そこで働く「国境の医療者」について、ミャンマーの医療事情を交えながら現状をお伝えする予定です。

## 国境の医療者　全国の書店で絶賛発売中！

メータオ・クリニック支援の会(JAM)が設立
10 周年を記念して出版した『国境の医療者』
は、引き続き絶賛発売中です！

「国境の医療者」の PR 動画はコチラ↓
https://www.youtube.com/watch?v=IWgU6bEo4kM

まだご覧になっていない方は、ぜひご覧ください！
熱い思いが詰まっています。




## 編集後記

　クリスマスシーズン到来。私が住むミャンマーは、世界有数の仏教国。少数民族はじめクリスチャンも数%いますが、大多数は信仰心の篤い仏教徒です。当然クリスマスなんて関係ない、、、かと思いきや、街にはクリスマスソングが流れ、豪華なツリーが飾られています。レストランの店員は、もれなくサンタの帽子をかぶって働いています(敬虔な仏教徒ですが)。クリスマスが宗教儀式ではなくイベント化しているのは、どこの国も同じようです。
　JAM 会員の皆様も、良いクリスマス、良いお正月をお迎えください。

## 次号の予定

次号は、２月中～下旬ごろ配信の予定です。

現地からの最新情報は、インスタ、ツイッター、ホームページでも、随時更新していきますのでぜひ、お時間があるときにご覧ください。

メータオ・クリニック支援の会(JAM)の活動を支援して下さり、心より御礼を申し上げます。JAM の活動は皆さまからの温かい寄付によって支えられ、院内感染予防活動、移民学校での啓発活動など様々なプロジェクト・設備投資を実施しています。
支援の輪が広がっていけるよう、どうぞ当会の Facebook もフォローして「いいね」や「リツイート」で応援してください。

当会では、都度の支援金の受け入れとともに、「1 日 10 円からの支援」を基本とし、継続的なご支援をお願いする賛助会員制度を用意しております。
【一般会員】3,650 円/年　　【学生会員】1,825 円/年　　【法人会員】36,500 円/年
当会ホームページにアクセスしていただき、お申し込みフォームから会員登録のうえ、指定の口座へのお振込をしていただきますと、賛助会員として登録させていただきます。詳しくは当会ホームページをご覧ください。

◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇

**ＮＰＯ法人メータオ・クリニック支援の会　　Japan Association for Mae Tao Clinic（JAM）**

| | |
|---|---|
| 日本事務局宛て<br>**E** メール | support@japanmaetao.org |
| **JAM** ウェブサイト | www.japanmaetao.org |
| **Facebook** | Japan Association for Mae Tao Clinic (JAM)　で検索して下さい。<br>https://www.facebook.com/JapanAssociationforMaeTaoClinic/ |
| **Instagram** | https://www.instagram.com/japan_association_maetaoclinic/ |
| **Twitter** | https://twitter.com/japanmaetao |


**※掲載されている全ての内容、文章の無断転載を禁止します。**